

JR東海労ニュース

No. 720

2005年8月7日

JR東海労働組合

トイレのノートがなくなる！

私たちのたたかいの 目に見える成果だ！

8月3日、東京第二運輸所の「トイレのノート」がなくなりました。「トイレのノート」とは、学習室にいる社員が、学習室から出てトイレに行く時などにノートに行く時間と、帰ってきた時間を書くものです。

JR東海労は、「トイレのノート」は人権侵害で全く必要のないものと指摘し、問題にしていたものです。女性社員にも同じことをしたのでしょうか？「トイレのノート」は人権侵害の温床というべきものです。

この「ノート」が突然なくなりました。8月3日、JR東海労は国土交通省、厚生労働省、政党、議員へJR東海のJR西日本を上回る労務管理の実態を訴える要請行動を行いました。行動を察知した会社が「ノートはまずい」と判断し姑息にも撤去したと考えられます。問題がなければ続けるべきです。会社は人権侵害を認めたのですか？ だったら社員に謝罪するべきです。

「トイレのノート」がなくなったのは、私たちのたたかいの成果です。泣き寝入りせず、職場からさらに一步前に出よう。JR東海ユニオンの皆さん！ JR東海労と共に明るい職場づくりを進めましょう！

会社の人権侵害、理不尽なことを許すな！

職場からさらに一步前に出よう！